



昨年5月に開催された豊予海峡ルート推進シンポジウムの様子

**議長** やはり、まちづくりは若い人が「自分たちのまちを自分たちで作ろう」という思いを持つことが重要だと思います。しかし、10代の投票率に比べて20代・30代の若者の投票率が伸び悩んでいるということも事実です。市議会では、これまで若者と議員の意見交換会の開催や、議会モニターの実施を通して、若年層の政治参加意識の醸成に取り組んできました。さらに若者の成長や社会参画を促進し、若者の持つ活力が循環するまちづくりを進めたいとの思いから、議員提案した「大分市若者応援条例」が、昨年の12月議会において成立いたしました。今後も行政や関係各所と連携しながら、若者のまちづくりへのやる気と強い意志を引き出せるよう努めていきたいと考えています。

**まちづくりの当事者として、より良い大分に変えていく**

—— 今後の市に対して、どのようなことを期待されているかお聞かせください。

**中島** 議長が仰った投票率一つを見ても、大分のまちづくりを人生の先輩方にお任せしている若者が多いのも現状のように思います。若者が当事者として、市民の立場から積極的にまちづくりに関わっていきたくと思えるような場が、今以上にできればと期待しています。

大分JCOMに入会した当初、私は「友達ができればいい」「仕事につながれば」と、自分のことばかり考えていましたが、あらゆる場で幅広い年齢の方々とお接する中で、だんだんと主語が「私」から「まち」「自分の大切な誰か」に変わっていきました。これこそ、JCOMの出会いの力だと思っています。

市民の皆さんにも、コロナで失われつつあった地域の絆を作る場であったり、あらゆる場が広がったりする中で「まちづくりの当事者」という意識が芽生えれば、今よりもっとまちづくりに参画できるようなのではないのでしょうか。

**議長** 市議会としては、2年間開催できなかった市民意見交換会を再開し、市民の皆さんから多様なご意見を直接聞かせていただきました。誰もが大分市に住んで良かったと思えるよう、今後の市政反映への材料にさせていただきます。

中島さんが全国大会でのスピーチで仰っていた、社会への愛、奉仕、貢献等については、私も若いころからずっと考えていました。これまで議員活動や消防団、中小企業支援、ロータリークラブ等の活動を



J:COM 大分ケーブルテレコム  
小野 まゆみ



大分市議会議長  
藤田 敬治



大分市長  
佐藤 樹一郎



日本青年会議所第71代会頭  
中島 土

**中島 土さん**  
・大分市出身 1982年生  
・大分県立大分上野丘高等学校  
～中央大学卒業  
・平成23年に大分青年会議所  
入会  
・令和4年に日本青年会議所第  
71代会頭就任  
(任期:4年1月1日～12月31日)

**地域を支え、変える力に期待し  
さまざまな支援を実施**

—— 市では創業したい人や事業規模の拡大を予定している企業への支援もされていますね。  
**市長** 中島さんをはじめ若手経営者、事業者には今後の経済活動の中軸として大きな期待を寄せています。若い方々が自由にビジネスに取り組み世界に羽ばたいてもらうため、市ではさまざまな目的に応じた起業支援を実施しています。特に近年の新型コロナウイルス感染症拡大は、従来の経済活動再開の妨げとなってきました。こうした市の支援等を大いに活用してもらうことで経済の活性化、まちの賑わい創出につながるのではないかと考えています。

—— 毎年、市では経済講演会を開催しています。昨年は中島さんも講師として出演されました。  
**市長** 行政としても、こうした起業のための支援措置のほか、既存の企業においても成長の原動力にしてもらうことを目的として、経済界で活躍している方々にお話いただく講演会を開催しています。

中島さんにも登壇していただいたのですが、そのときのテーマも全国大会の時と同様に「愛」。タイトルは「愛が希望に変えていく」どこにでもいる青年をリーダーに変える魔法とは。一貫しているのは、「無償の愛」です。求めずに行動を起こすことが、人を変えていくと気付いた被災地ボランティアのエピソードは特に興味深かったですね。

通じて、社会や地域のためにと真剣に取り組んできましたが、最近になって著名な方の言葉から、これらの他者への貢献心というのは人間の本能ではないかと思うようになりました。本能であるならば素直に取り組むことができます。最近やっと心が軽くなった気がしております。本日はこのような思いを共有でき、とてもうれしく思っています。

—— 最後に市長、まとめをお願いします。

**市長** 本日は、これからの世の中を考える上で非常に大事なお話をいただいた時間だと思えます。私たち行政は、市民の皆さん一人ひとりが「まちづくりの当事者」として、より良い社会に変えていきたいと思える機会を作っていく必要があることを改めて感じました。中島さんが昨年一年間、日本青年会議所会頭としてメッセージを発信し続けてくださった思いを皆さんと共有して、素晴らしい一年を迎えられたらと思います。

—— 本日はありがとうございます。



※一昨年、昨年等の年の表記は、5年1月1日時点の表記です。  
※収録は4年11月11日に行ったものです。